

盛岡城小噺

#盛岡城の記録

あまり知られていないかもしれませんが、Vol. 2の中で触れた「雑書」以外にも、盛岡城に関連する文献は多数存在します。そして、その30冊以上は、もりおか歴史文化館や岩手県立図書館が所蔵しています。以下が、文献の一部です。

❁ 覚書【おぼえがき】：1830年～1870年
「雑書」と同様に家老席の書記にあたる藩士が家老の政務日誌として記した盛岡藩の公的記録文書。岩手県指定文化財で、原本と写して105冊ある。

❁ 祐清私記【ゆうせいしき】：1741年～1744年
盛岡藩士の伊藤祐清が、収集した古記録をもとに、南部信直・利直父子に関する内容を中心に前後の歴史を記録したもの。

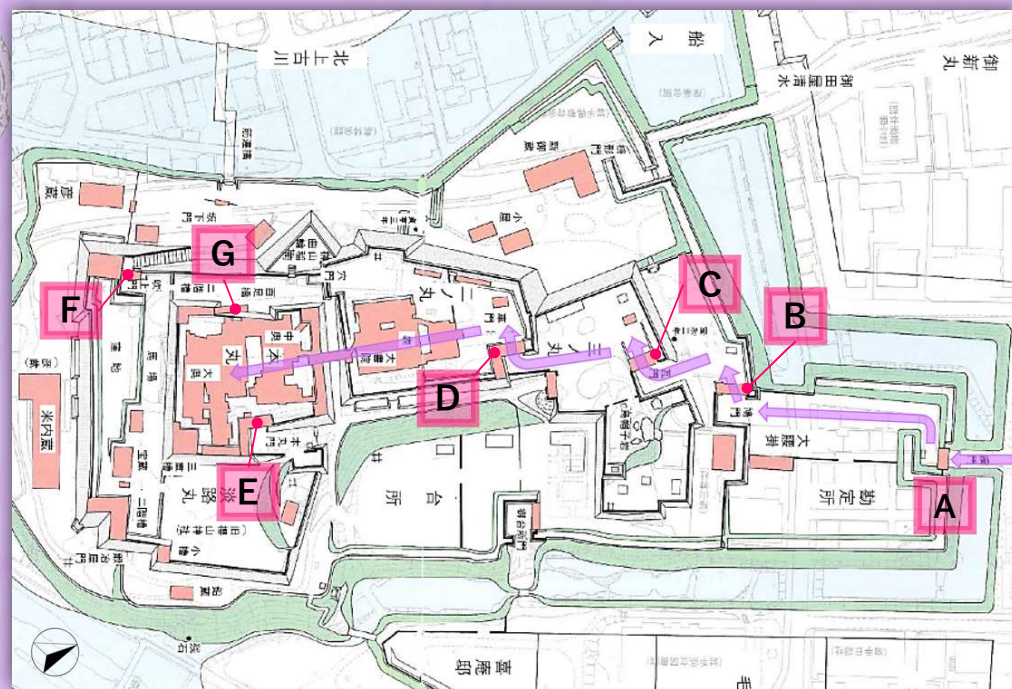
❁ 盛岡砂子【もりおかすなご】：江戸時代後期
盛岡藩士の星川正甫が、江戸の地誌「江戸砂子」を参考に、盛岡城下各所の情報を集約した地誌。

❁ 国統大年譜【こくとうだいねんぷ】：明治期
南部家が所蔵していた多くの古文書・記録をもとに、明治28年ころまでに編纂された年表。

このように、一言で文献といっても、その中身は多種多様です。推進室では、盛岡城の謎を解くためのヒントをみつけるべく、様々な文献に散りばめられた盛岡城の記録を集め、絵図面等の史資料との照合を行うなど、調査分析を進めています。

盛岡城を紐解くための手がかりとして、「記録」はとても重要なものです。誰も気づいていないところに埋もれていたほんの少しの記録が、盛岡城の姿に近づく大きな一歩になるかもしれません。

盛岡城復元調査推進室の取組の詳細は、市ホームページに掲載しています。
盛岡城に由来があると伝わる資料や建物等に関する情報などありましたら、盛岡城復元調査推進室(019-613-7956)まで、情報提供をお願いします。



← … 登城ルート

※ 史跡盛岡城跡保存活用計画「城内（内曲輪）の建物配置復元図（江戸時代後期）」に追記

盛岡城日記

雑書

Vol.12 2024年5月

今回は、盛岡城MAP第一弾「登城のススメ」です。
盛岡城のMAPをもとに、藩主が本丸に向かう際に通っていた登城ルートと主要な門などを紹介します。
少しずつ夏を迎えるこれらの季節。本丸跡に向かい、盛岡城を登城しながら、公園の新緑を楽しんでみるのはいかがでしょうか。

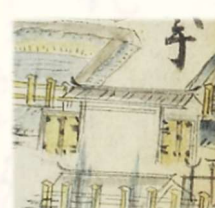


A 綱門

城内への入口となり、登城の際最初にくぐることとなる門。場所は現在の櫻山神社参道の鳥居付近で、上図からは、商店街の東側に勘定所があったことが確認できる。



▲ 綱門跡付近



▲ 増補行程記
：もりおか歴史文化館収蔵

B 鳩門

鳩森下曲輪と呼ばれた場所（現在の櫻山神社の西側）にあった櫓門。
※石垣修復工事のため、現在瓦門との間の道が通行不可。



▲ 増補行程記
：もりおか歴史文化館収蔵

C 瓦門

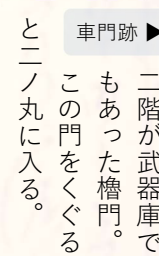
三ノ丸の入口に創建当初からあった瓦葺の櫓門。直角に曲がる瓦門への通路は、両側が石垣で囲まれていた。



▲ 盛岡城図
：もりおか歴史文化館収蔵

D 車門

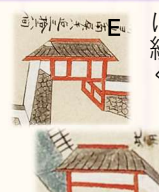
二階が武器庫でもあった櫓門。この門をくぐる。と二ノ丸に入る。



▲ 明和盛岡城図
：もりおか歴史文化館収蔵

E 本丸門

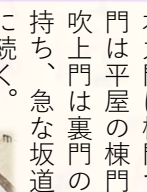
本丸までは、A～Dの4つの門をくぐり、二ノ丸から建物に入ります。藩の儀式や行事などが執り行われる大書院を抜け、今の渡雲橋の場所に架けられていた廊下橋を渡ると本丸に到着です。



▲ 寛永盛岡御城図
：もりおか歴史文化館収蔵

F 吹上門

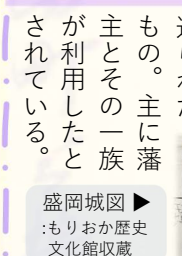
本丸門は櫓門で、吹上門は裏門の機能を持ち、急な坂道に続く。



▲ 寛永盛岡御城図
：もりおか歴史文化館収蔵

G 百足橋

石垣を斜めに昇降できる階段状の橋で、利便性を求め造られたもの。主に藩主とその一族が利用したとされている。



▲ 盛岡城図
：もりおか歴史文化館収蔵